



よいことのために手を取りあおう

週報第14号令和7年11月13日発行



「東京芸術劇場」

横浜鶴見北ロータリークラブ

【事務局】 横浜市鶴見区佃野町 18-11 エトワール鶴見 303 号

TEL 045-575-1821 FAX 045-575-1822

Email ytnclub@gmail.com

HP <https://www.rotary-tsuruminorth.jp/>

【例会】 毎週木曜日 12:30 場所 新横浜グレイスホテル

会長／祝康一 副会長／渡辺直昭 幹事／小笠原憲介

第2462回例会 令和7年10月30日

入会記念日

斉 唱 「四つのテスト」

加藤 進 会員（平成9年11月6日）

会 長 報 告

10月21日鶴見夢広場に参加いたしました。朝方は雨で開催を迷っていたところ、ヨゼフの生徒さん方がやる気満々で準備をしていました。我々ロータリアンがヨゼフの生徒さんたちに引っ張られている感じでした。そうこうするうちに雨も上がってきて午後からは来場者も増え、ヨゼフの生徒さん及びロータリアンのみんなで声掛けをいたしましたところ、おそらく最高額の募金をいただきました。みんなの力で鶴見夢広場「盲導犬育成のための募金活動」は盛り上がり、成功することができました。

翌日、ヨゼフ学園にてインターアクトクラブの活動の様を見学いたしました。クラブ会員増員への対策も熱く語られており、併せてサマーミーティングの準備についても議論されました。

いよいよ地区大会も11月7日から8日にかけて開催されます。できるだけ多くの方の参加よろしく願いいたします。

幹 事 報 告

- ・2026年国際大会台湾パッケージのご案内
なお、12月15日までに登録で登録料USD475
- ・横浜南RAC55周年記念例会のお知らせ
12月20日17:30開会 Union Harbor
- ・2590地区2024-25年度決算報告書
- ・新竹RC71周年記念式典のご案内
- ・地区大会プログラム

委員会報告

【松阪脩平会員】

- ・年末家族親睦会景品提供のお願い

【増田泰成会員】

- ・つるみ夢ひろば募金額報告 243,591円



- ・聖ヨゼフ学園盲導犬講義の報告

【田邊勝久会員】

- ・11月R月間寄付のお願い

【簡伸治会員】

- ・会員候補者懇親会の件
- ・ロータリー希望の風チャリティーコンサートの報告

【上原良廣会員】

- ・鶴見支援学校除草作業



出席報告

会員総数 32名
 今回暫定 24 / 32 = 80%
 前々回確定 23 / 32 = 76.66%

ニコニコBOX

クラブ会員の為、敬称略

祝 康一 青木さん本日は卓話ご苦労様です。イニシエーションスピーチ楽しみに拝聴させていただきました。

松田 啓 次年度の青少年交換学生が決まりました。合格者が2名しかいなかった為、異例の追加募集をすることになりました。周囲の方には是非お声がけください。

青木 頼江 加藤さん入会記念日おめでとうございます。本日イニシエーションスピーチドキドキしております。よろしくお願いいたします。

上澤摩壽雄 青木さんイニシエーションスピーチご苦労様です。

簡 伸治 青木さんイニシエーションスピーチ楽しみです。先週蔡さんの故郷嘉義（台湾）に行ってきました。檜の産地で日本の神社の鳥居に使われているそうです。

今井新一郎 先日の母の葬儀では多くの方々に大変お世話になりました。青木会員イニシエーション拝聴いたします。

牧井 秀賢 總持寺ご出席の皆さんお疲れ様でした。寄付金たくさん集まりましたね。青木さんイニシエーションスピーチ頑張ってくださいね。

松阪 脩平 鶴見支援学校除草作業に参加の皆様お疲れ様でした。人の為に体を動かすことの大切さを再認識いたしました。青木さんイニシエーションスピーチ拝聴いたします！

上原 良廣 青木さん今日は緊張せずリラックスしてお話ください。総持寺夢ひろば、IA例会、鶴見支援学校除草作業ご参加の皆さんお疲れ様でした。

堀野 弘樹 夢ひろば、チャリティーコンサート、鶴見支援学校除草作業そして本日。ロータリー活動ばかりです。青木さんイニシエーションスピーチよろしく願いたします。

加藤 進 今晚の歓迎会入会してくれるといいですね。

中西 美里 青木さんイニシエーションスピーチ緊張しますよね(^)楽しみに拝聴いたします。

生方 常明 10/24 当山の般若経転読江が無事に終わりました。翌25日は京都青蓮院へ。26日～28日まで早めの大掃除をしており總持寺さんへ出かけられず失礼しました。

以下同内容の為お名前のみ（敬称略）

鈴木元一郎 上村政二 合谷保爾 晝間勝
 田邊勝久 渡辺直昭 石渡宏衛 佐久間務
 野村清司 増田泰成

「イニシエーションスピーチ」



青木 頼江会員

皆様、こんにちは。改めまして青木頼江と申します。どうぞよろしくお願い致します。まずは伝統ある横浜鶴見北ロータリークラブに入会させていただきました事、とても感謝しております。又、このようなスピーチの機会を頂きました事も大変光栄に存じます。さて、私は1963年9月17日に東京都文京区千駄木にて生まれました。現在の鶴見区東寺尾に移り住んだのは1990年10月からとなります。

父、水谷阿久利 母、千代子の次女として誕生し、二人姉妹です。家業は理美容鋏製造業卸をしていました。工場には鍛冶場もあり、メラメラ燃える炎を興味深く、また少し恐れながらのぞいていたことを思い出します。製造された理美容鋏は主に専門学校やメーカーへ納めていたと聞いています。そんな中でも父が手作りしていた理美容鋏や包丁は、日本橋の木屋さんへ納めていたと記憶しています。納品の時には連れて行って、近くの百貨店へ寄って美味しいものとおもちゃを買ってもらえるかも…淡い期待をしていたのですが、8割がた達成されずガックリと帰路についていました。そんな家業でしたので、多くの職人さんや業者さんが出入りしており、対応に忙しい母を見ていて、「私はサラリーマンと結婚する」と思ったものでした。そんな父が65歳で病に倒れる少し前に、東京打刃物と

いう技術が認められ、東京都の伝統工芸士に認定されました。残念ながら脳梗塞で左半身麻痺となり、自身で仕事を続ける事が出来なくなり、現在は父の弟、私の従弟が千葉県で事業を継いでくれています。

今となっては遅いですが父の跡を継ぐ方法はなかったのかと少々悔やまれます。

私は地元の小学校、中学校へと通いました。上野が近く、毎年徒歩で全校生徒一斉に写生会に行っていました。全校生徒といっても私の時代でもすでに1学年2クラスしかなく、全校で12クラスなので、事故もなく毎年行われていました。上野には美術館も多く、モナリザやモネ等、数多く社会科見学で鑑賞の機会を与えてもらえました。又、音楽演奏会ではNHKホールのパイプオルガンを聞いた時にはものすごく衝撃と感動を覚えたのを今でも忘れることが出来ません。特にクリスマス近くになると思い出します。そんな思い出の小学校、中学校も子供の減少で統廃合されてしまい、ずいぶん前になくなってしまいました。とても寂しい限りです。

谷中銀座商店街は、最近「谷っこ根っ子」といって谷中、根津、千駄木の中の1つで、テレビでも多く取り上げられています。台東区と文京区そして荒川区が入り混じっているところです。小学校の同級生の何人かは家業を継いでいて、たまにテレビで見かけたりします。実家のお寺が上野にありますので、お墓参りの時に顔を出したりと細く長く交流を続けています。

夕焼けダンダンとは、その石段からとてもきれいな夕焼けが眺められることから、一般公募で命名された事でも有名ですし、ロケ地としても多く使われています。この石段でよく遊びました。

朝倉彫塑館の場所も大東区谷中になります。こちらが子供のころから幾度となく通っている彫刻・彫塑家 朝倉文夫のアトリエ兼住居を改装した美術館です。彫刻作品の

みならず建物と庭園全体がすばらしく、とてもお勧めです。

旧岩崎邸庭園ですが、こちらにも年数回訪れている大好きな場所です。観光案内のようになってしまいますが、私の心を豊かに、そして癒してくれる場所なのでお伝えしたいと思います。三菱財閥、岩崎家の庭園と建物を公園として整備した都立庭園であり、園内の歴史的建造物は国の重要文化財に指定されています。当時の生活様式と伺い知ることが出来、タイムスリップした感覚になります。都心でありながら心落ち着く場所の1つです。

さて生まれてから、家業の事、子供の頃の事をお話しさせていただきましたが、高校は都立高校へ進学し、中学校の頃からテニス部の練習に明け暮れていました。真っ黒に日焼けしていたのですが、冬は中学生の頃からスキーもしていたので、夏の黒さとはまた一味違った黒さとなり、「なんでそんなに黒いの？」とよく言われていました。中学～高校とクラブ活動に明け暮れておりましたが、短大へ通った2年間はそれなりに楽しくはありましたが、なんとなく流されて過ぎてしまったように思います。特に何に打ち込んだのか…と聞かれたら答えに迷ってしまう時期でもありました。就職の時期となり、落ちたり受かったり、納得したりしなかったり…繰り返し最終的には家からほど近い文京区千駄木にあります、日本医科大学付属病院の集中治療室医局秘書という事で落ち着きました。

この時も勤務初日に「どうしてそんなに黒いの？」と驚かれました。当時は医局の秘書は病院の職員と同じ扱いではあったのですが、お仕事の内容、時間、お給料は各医局で全く違うものでした。いわゆる資金力のある医局と、そうでない医局…と二極化していたように思います。私のいた集中治療室は恵まれた待遇ではありましたが、24時間体制のCCUと言われている所で、主に「急性心筋梗塞」の方が救急で運ばれてくる場所です。外にも出ることが出来ず、交代で連日治療にあたっ

ているので、その治療現場へ出向いて「お昼の注文メニューを聞きに行く事」が毎日苦痛でした。主な仕事としては、各先生方へのアポをつなぎ連絡、出版の方から原稿のやりとりや文献探し等でしたが、何日も自宅へ帰ることの出来ないドクターも多発するため、電気・ガス・水道が止められてしまうこともありました。そんな時、代わりに支払いに行ったりと経験したことがないような事を沢山経験し、今となっては笑い話のような出来事です。今では権威ある立派なドクターにおなりになっている方もいます。

一番の仕事は集中治療室のトップ高野照夫先生という方…後の主任教授・院長・学長・理事長を連任なさった方の個人的な秘書業務が最優先でした。製薬会社からのアポ依頼がものすごく多く、毎日先生の部屋の前には少なくとも10人位列をなして待っていました。文献の依頼と原稿の管理、お礼状やお電話の調整等、多岐に渡っていましたが、一番困ったのは超多忙な先生でしたので、時にはストレスが許容を超えてしますと、理不尽な事も多く何回も泣く事となりました。しかし、不思議と辞めたいとは思いませんでした。それはやはり先生のお人柄と奥様のフォロー、お気遣いにあつたと思います。先生は自宅へ帰ると「今日はヨリちゃんを泣かしちゃったよ」と必ず奥様に話されたそうです。次の日、奥様からフォローのお電話が必ず入りました。そんな先生でしたので嫌いになったり、恨んだりする事が出来ませんでした。結局は人に恵まれたのだと思います。

仕事の1つにCCU連絡協議会というネットワークがあり、その事務局の仕事もしていました。当時の厚生省から多額の研究費が年4回振り込まれ、その分配や経費処理や報告書、発表資料等の作成等、神経を使うものが多かったですが、今でも数千万単位で振り込まれる通帳と印鑑を平気で就職したばかりの私に預けるという事でした。今考えてもあり得ない事ですが、就職試験受験条件の中に、

両親ともに自宅で同居していること、通勤 30 分以内…との項目があったのはその為だったのかなと思います。時代の違いをつくづく感じます。そんな中、仕事にも慣れてきた頃、ランチ後に他の科の秘書さん達と根津神社へ散歩に行っていました。つつじ祭で有名な所で、緑豊かな心休まる場所で、泣いた後は必ず足を運んでいた場所でした。仕事を始めて 2 年後に結婚が決まり、高野先生も主賓でおいでくださり、現在もお元気でいらっしゃいます。年に数回ではありますが、交流を重ねています。もうかれこれ 40 年以上となり月日の流れの速さに驚きます。その後、妊娠、流産等を繰り返し退職するのですが、鶴見へ引っ越し、父が倒れた際にも高野先生にはご尽力頂き本当に助けて頂き今日へと至っております。

明治安田生命への入社のおかげですが、1990 年 10 月鶴見へ縁あり引っ越してきました。1990 年 12 月に長女を、1993 年に長男を出産し、専業主婦で子供の面倒を父の介護を母としていました。

そんな中、ふと「私って何？誰なのだろう」と思うことがしばしばありました。「青木さんの奥さん」「〇〇ちゃんのママ」「〇〇さんの娘さん」私個人での存在は…私っていないの？という思いがふつふつと沸き上がり、そんな中たまたまお声がかかり、入社するのですが、最初は生命保険の営業には良いイメージがなく、絶対やりたくないと思っていたのでした。というのも、実家にいた頃、色々なセールスの方々…特に生命保険の飛び込みの方々が入って来ていました。中には強引だったりマナーが出来ていなかったり、断っても帰らなかったり、根負けして契約して帰ってもらう…みたいな場面も見ていたので、全く気持ちが動かずお断りしていました。根気強く昔と今では仕事としての教育も違うし、なによりこの仕事の必要性、意義等を熱心に何回も話に来てくださり、少しずつ気持ちが動き、ある時「そうだ、私は私が嫌だと思

営業員ならなければいいだけなんだ。押し売りではない、必要な方へ必要な最適な商品や情報をお届けしよう。そしてご契約頂き事は商品と一緒に、私という人間も担当者として買って頂くことなんだ…」という思いに至ったのでした。仕事を始め、色々な事がありましたが順調に過ごしておりましたが、父が再発し、介護もあり、まだまだ介護保険もない時代で家で家族が介護する時代でしたので、3 年弱で退職となりました。その後、父の病院再々入院し、多分病院から戻ることは難しいとなった時、母から仕事をまた始めたら…と話があり、43 歳の時に再入社となりました。今年の 12 月で 20 年目に入る所です。途中父を看取ったり、子供の受験があったり、様々な出来事がありましたが、良く続けてこれたなあとつくづく思います。きっと「お客様のお陰」「家族のお陰」「働く仲間のお陰」があったからだと思います。今、全ての方々に感謝したいと思います。

ここ数年会社では、参加費無料で当日お気持ちのご寄付を頂くチャリティーコンサートを開催しており、本年も 9/18 みなとみらい大ホールにて、三枝成彰氏を囲んでのトークとオペラを楽しむことが出来ました。契約者の方々や、そのご家族、又お知り合いの皆様にご参加頂ける催しを随時開催しております。

次に「行政サービス案内」とは行政とお客様をつなげる役割を、私達営業員が担うというものです。明治安田厚生事業団と横浜市は連携協定を結んでおります。活動として営業員を明治安田リンクワーカーと位置づけ「お一人お一人の興味ある事、お困りごと」を伺い、ニーズに合わせた行政サービスの情報等をご案内する活動を行っております。結果お客様は行政サービスの利用や参加、行政へがいお客様の声をフィードバックするというものです。行政サービス案内は、横浜市と各書を締結し、学術的な支援、及び評価を担当しています。行政サービス案内の取り組みがお客様志向の取り組みと評価さ

れ、令和6年消費者志向経営優良事例表彰で「消費者庁長官表彰」を受賞いたしました。お客様には①健康増進②子育て・育児③介護・認知症④防犯・防災の4つの項目からご要望・参加状況等をヒアリング報告、フィードバックを行っています。以上をふまえて私は地域に根ざした、人と人がつながる。何か困った時、何か起こった時に思い出してもらえそんな存在でありたいという思いを込めて、日々寄り添った仕事を心掛けています。そんな会社の思いと私の思い、様々な活動や地域への奉仕活動や貢献を考えた時、会社がいくつかの条件をクリアした営業員へ支援を行うとの事でお話があり、それでしたら地元のロータリーが一番良いのではないかと佐久間さんにお声を掛けさせていただいた次第です。

会社の取り組みといたしまして、

- ・ブルタブやタオルを障害者施設へ寄贈・支援
- ・あしなが育英会への寄付
- ・ピンクリボン活動への参加・寄付
- ・ペットボトルキャップ収集でのポリオワクチン支援
- ・がん撲滅への活動と寄付
- ・鶴見川清掃活動

営業所単位の物から生命保険協会や生命保険フィナンシャルアドバイザー協会と協力しての活動・支援を行っております。

様々な活動を通じて、小さな声が取り組みが点から線へ、そして大きな輪となってつながり広がっていくと思っています。先日の「はまぎんホール」でのチャリティーコンサートに参加してみて、素晴らしい取り組みと団体なのだなあと改めて思いました。ロータリー活動の中で少しでも自分も力になればと思っています。

最後に一つだけ、どうしても皆様にお伝えしておいた方が良くと主人が申しております事をお伝えさせていただきます。私は病的に地震が苦手なのです。得意な方はいないと思うのですが、苦手というよりパニックに近く、取り乱してしまいます。震度4以上ともなると

尋常ではない取り乱し方をしてしまい、周りの方にご迷惑をかけビックリさせてしまうので、この機会にお伝えさせていただきました。お恥ずかしい話ではありますが、こんな所を含めて私の自己紹介とさせていただきます。

まとまりのない話となりましたが、最後までお聞きいただきまして、ありがとうございます。感謝いたしますと共に今後は皆様方と親睦を図り、奉仕活動を通じて社会貢献出来るよう努力していきたいと思っております。どうぞご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日はご清聴ありがとうございます。

活 動 予 定

- 1 1月13日（木）グループミーティングA
- 1 1月18日（火）グループミーティングB
- 1 1月26日（水）グループミーティングC
- 1 1月27日（木）グループミーティングD
- 1 2月 9日（火）新竹RC創立記念例会
- 1 2月 4日（木）年次総会
- 1 2月23日（火）年末家族親睦会 🌲
- 1 月 8日（木）2RC合同賀詞交換会
- 6月14日（日）台湾国際大会

例 会 予 定

- 1 1月20日（木）**休会**
- 1 1月27日（木）新横浜グレイスホテル
- 1 2月 4日（木）新横浜グレイスホテル
- 1 2月11日（木）新横浜グレイスホテル
- 1 2月18日（木）新横浜グレイスホテル
- 1 2月23日（火）新横浜グレイスホテル
～年末家族親睦会～